

# 東予高校 P T A だより

「新聞週間に思う」

P T A 会長 越智 浩二

保護者の皆様には日頃より学校行事に多数ご参加いただきありがとうございます。四月の授業参観、P T A 総会に始まり、五月は雨天の中「東高祭 & バラ観賞会」も行われました。またキッチンカーや近隣高校の出店等、心より御礼申し上げます。

さて、毎年十月十五日から同二十一日までは新聞週間です。この時期になると私が中学生の頃にしていた新聞配達のことを思い出します。

新聞配達は今時人気のあるアルバイトで、配達員の空き順を数ヶ月待つような状態でした。運よく二年生の六月から地元の六十軒を任せられ、配達前日の夕方に販売店の店長さんと住宅地図に印を付けながら一軒ずつ廻りました。翌朝五時半より、自転車で氷見の自宅から小松の販売店まで六十部を積み込みに行き、各家庭の新聞受けやポストに配達していききました。全て配り終わったところ、一部余ってしまい、再び一件目から地図と照らし合わせて再度確認する事になりました。すると十二件目あたりで隣接する一件の未配達が確認できました。仕事の初

日とはこんなものではないでしょうか。

だんだんと配達に慣れ半年もするの行程でも五秒ぐらいの時間差で配り終えることが何回かありました。だが悪天候時と元旦はそうはいかないのです。雨天時は今と違い一部ずつを濡れないようにビニール袋に手作業で梱包して配達し、元旦は紙面が特集と広告で五倍に膨れ上がるのです。一回では自転車の荷台に収まらず、あらかじめ店長さんが中継地点までトラックで運んでくれていました。それでも時間は通常の二倍はかかるので元日の朝は本当に辛かったです。この頃から新聞は第一面から目を通すようになりました。(それまではテレビ欄から。)

皆さんの家庭で購読している新聞はどこでしょう？(もはやスマホでニュースを見る時代ですが。)地方紙・愛媛新聞をはじめ全国五紙(読売、朝日、毎日、日経、産経)等いろいろありますが、各紙によって一つの報道も様々な視点で編集され思想や解釈、写真も変わります。ぜひ来年の元旦にはコンビニで全六紙を買い集めてみてください。政治、経済、社会、文化、スポーツ、広告、これらで約一ヶ月分同じ価格で莫大な質量になります情報量もかなりあります。(私はここ数十年六紙

の読み比べをしています。)

これから社会人になっていく生徒の皆様も改めて新聞紙面の活字に親しんでいただきたいです。職場や取引先との間で、知っていて良かったと思うシーンが必ずあるでしょう。また、工業系の生徒さんは各科に関連する業界新聞(きつ)と職場の事務所にあるはず。にも目を通して特化した知識を身に付けてほしいものです。

最後に豆知識をひとつ。

人間の頭蓋骨の厚みは最大でたった7ミリしかありません。身長170センチ、体重60キロの人が道路上を自転車で20キロの速度で転倒したらどうなるでしょう？力学や慣性の法則をしっかりと学んでいる賢明な生徒諸君はもうお分かりでしょう。保護者は朝だけでなく下校中も君たちの所作に目を向けています。

二学期から年末、年始にかけてイベントも多く、また三年生は自動車教習所に通う事もあるでしょう。東予高校全生徒が健康で素晴らしい新年を迎えられますように。



「工業教育の広がり」

校長 渡邊 琴子

保護者の皆様には、平素から本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年の五月に通常の教育活動に移行して一年と三か月余り、教育活動にも本来の伸びやかさが戻り、学校の活気も増しております。今後も精一杯の教育活動に励みます。今後とも精一杯の教育活動に励みますので、皆様の御支援をお願いいたします。

さて、今夏も生徒たちの活躍には目覚ましいものがありました。

七月に開催された四国地区高校生溶接技術競技会では、機械部の三名が被覆アーク溶接部門団体の部で三位に入賞し、賞状とともに立派なトロフィーを持ち帰りました。あわせて、機械部の二年生が炭酸ガスアーク溶接部門個人の部で優良賞(三位)を受賞、八月に開催された第八回全国選抜高校生溶接技術競技会(新居浜(溶接甲子園)への出場を果たし、炭酸ガスアーク溶接部門全国五位(KOBELCO賞)入賞の快挙を果たしました。また、八月に開催された高等学校ロボット相撲選手権2024中四国選手権に、本校ロボット部の生徒が出場し、ユニークな仕

掛けを披露して、会場を沸かせました。加えて、九月に開催された全日本ロボット相撲大会2024中国・四国地区予選の3kgクラスで六位（高校生全国大会出場）、500gクラスで優勝とベスト8（共に全日本ロボット相撲全国大会出場）の快挙を成し遂げました。

地域活動にも積極的に取り組み、機械科の授業で製作している防災ベンチを、七月に壬生川駅前の「食の創造館」に贈呈しました。また、八月には、このベンチをすでに寄贈してあった田野公民館の夏祭りで、丹原高校の生徒とともに「かまど（コンロ）」としての使用方法の実演を行い、多世代の来場者と交流しました。八月上旬に小松中学校で開催された小松地域未来塾では、電気システム科の生徒が電子工作教室「LEDライトの製作」を開講しました。同じく八月下旬に開催された小松町ふるさと祭り大名行列に、小松藩主や姫、侍姿の東予高校・小松高校・丹原高校の生徒が参加しました。

今年度は、小松高校・丹原高校との交流学习活動を進めており、改めて工業教育の新たな可能性の広がりを実感しております。十月には建設工学科クレーン操作出前講座に、小松高校・丹原高校の生徒も参加することになっています。本校は、今までもこれからも、

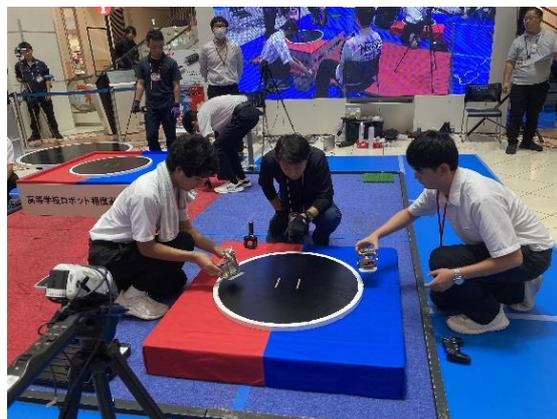
西条市の産業を支える人材の育成拠点として、工業教育の充実に励んでまいります。どうぞ、変わらぬ御支援をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、越智PTA会長様が、就任以来続けてこられた朝のあいさつ運動に、PTA副会長様や監査の皆様も参加してくださるようになり、大変心強く感じております。心よりお礼を申し上げます。あいさつ運動の様子を本校ホームページに掲載しておりますので、是非御覧ください。

本校生徒の活躍  
①ものづくりコンテスト四国大会  
(旋盤作業部門)



②日本ロボット相撲大会 2024 中国・四国地区予選



③第八回全国選抜高校生溶接技術競技会ニ新居浜(溶接甲子園)



④田野公民館夏祭り

